



↑平尾の赤土で育ったバレイショ。「ホクホクしておいしいですよ」

例 赤土バレイショ出荷追い込み 年より1週間早いピーク

かごしまブランド作物に指定されている「赤土バレイショ」の春物の出荷が4月下旬、追い込みを迎えました。

町内に2カ所ある鹿児島いずみ農業協同組合の選果場では、連日生産者や運送業者がトラックいっぱい積み込んだバレイショを運び込み、大きさ別に選別された後、全国各地に向けて出荷されていました。

同組合によると、今年は大きさ、品質ともに例年並みで、収穫は5月末まで続く予定。2月の低温の影響はあったものの、例年ゴールデンウィークに迎えるピークが1週間程早かったとのこと。

長島特有の粘土質の赤土で育ったバレイショは、実の締りがよく、全国で好まれています。

い 「人権の花」運動開会式 たわり、思いやりの心育む

人権の花を協力して育てることで、やさしさや思いやりの心を育んでもらおうという「人権の花」運動の開会式が川床小学校でありました。

この運動は、鹿児島地方法務局と県人権擁護委員会連合会が昭和60年から実施しているもので、本年度は同校も取り組むことになりました。

式では、餅原美栄子人権擁護委員から児童にひまわりの種が贈られ、児童を代表して花原久君(6年)が「運動を通して、やさしく、楽しく過ごせる学校をみんなで作りたいです」と決意を述べました。



↑人権擁護委員から児童にひまわりの種が贈られる

↓島の将来を担うちびっ子たちが、熱戦を繰り広げた相撲大会



相 恒例の獅子島招魂祭 撲、踊りで春満喫

初夏を感じさせる好天に恵まれた4月20日、恒例の獅子島招魂祭が開かれました。

七郎山山頂(393 ㍎)にある招魂墓地では、戦没者の労苦をしのび、近くの山頂広場では、相撲や踊りが披露されました。

島民らはビニールシートに弁当や飲み物を広げ、家族でちびっ子たちの相撲を観戦。必死に頑張る子どもの姿や珍取組に、声援を送りました。

島内の小・中学生の踊りもあり、会場を大いに盛り上げ、賑やかな1日となりました。